

指標ごとの目標と達成度

基準実績（H14）H15 目標現在（H15）実績来年（H16）目標計画目標（H19）

渋滞を減らす～道路交通の円滑化～交通円滑化事業費（H16 7,391 億円）

①道路渋滞による損失時間（渋滞モニタリング区間）		6.1 億人時間/年	約 5.9 億人時間/年 （約 3 %減）	約 5.9 億人時間/年 （約 3 %減）	約 5.7 億人時間/年 （さらに 3 %減）	（約 1 割減）
②路上工事時間		201 時間/km・年	193 時間/km・年 （約 4 %削減）	186 時間/km・年 （約 7 %削減）	185 時間/km・年 （約 8 %削減）	（約 2 割削減）
③ E T C利用率	全国	5 %	約 15 %	16 %	30 %	約 70 %
	首都高速	6 %	約 20 %	19 %	40 %	約 85 %
	阪神高速	3 %	約 15 %	11 %	35 %	約 85 %

地域を結ぶ～地域間の連携～地域連携推進事業費等（H16 20,843 億円）

④規格の高い道路を使う割合 （新たに規格の高い道路への転換を図る目標交通量）		13 %	13 % （210 万台キロ）	13 % （－ 20 万台キロ）	13 % （290 万台キロ）	15 %
⑤拠点的な空港・港湾への道路アクセス率		59 %	61 % （青森港へのアクセス）	61 %	61 % （中部国際空港へのアクセス）	68 %
⑥隣接する地域の中心の都市間が改良済みの国道で連絡されている割合		72 %	73 %	73 %	74 %	約 77 %
⑦日常生活の中心となる都市まで、30 分以内で安全かつ快適に走行できる人の割合		63 %	約 64 %（約 80 万人増加）	約 64 %（約 60 万人増加）	65 %	約 68 %

道路を守る～道路の維持管理～維持修繕費（H16 2,625 億円）

⑧道路構造物保全率	橋梁	86 %	約 87 %	87 %	89 %	約 93 %
	舗装	91 %	現状の水準を維持	93 %	現状の水準を維持	現状の水準を維持
⑨災害時に広域的な救援ルートが確保されている都市の割合		66 %	68 %	68 %	70 %	約 76 %

環境を改善する～環境の保全～沿道環境改善事業費等（H16 1,263 億円）

⑩	NO ₂ 環境目標達成率	64 %	約 67 %	67 %（新指標：53 %）	－（新指標：77 %）	－（新指標：約 9 割）
	SPM環境目標達成率	－	約 1 割	9 %（新指標：78 %）	－（新指標：現在の水準を維持）	－（新指標：現在の水準を維持）
⑪夜間騒音要請限度達成率		61 %	約 63 %	64 %	65 %	約 72 %
⑫CO ₂ 排出削減量		261 百万 t-CO ₂	平成 22 年度までに運輸部門における二酸化炭素排出量を約 250 百万 t-co2 まで削減			

交通事故を減らす～安全・安心な道づくり～交通安全施設等整備事業費等（H16 4,507 億円）※指標⑩は、測定方法の定義の変更により、2 通りの値を併記

⑬道路交通における死傷事故率		118.4 件/億台キロ	約 116 件/億台キロ	119.9 件/億台キロ	約 114 件/億台キロ	約 108 件/億台キロ
⑭1 日当たりの平均利用者数が 5,000 人以上の旅客施設の周辺等の主な道路のバリアフリー化の割合		約 17 %	約 21 %	約 25 %	約 30 %	約 5 割

電柱・電線をなくす～美しい景観の創造～電線共同溝整備事業費（H16 2,287 億円）

⑮市街地の幹線道路の無電柱化率		約 7 %	約 8 %	約 9 %	約 10 %	約 15 %
-----------------	--	-------	-------	-------	--------	--------

道路行政の改革する～アカウントビリティの向上～

⑯道路利用者満足度		2.6 点	約 2.7 点	2.6 点	約 2.8 点	3.0 点
⑰ホームページアクセス数		1,546 万アクセス/年	約 2,600 万アクセス/年	2,350 万アクセス/年	約 4,300 万アクセス/年	約 1 億アクセス/年

新しい指標設定

新指標 1 路線番号の認識できる交差点の割合

新指標 2 踏切遮断による損失時間

新指標 3 「防災上課題のある市街地」の割合